

文芸協 すざか

第 38 号

発行所

須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747

須坂市中央公民館内

TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社

会長就任にあたり

須坂市文化芸術協会会長 花房 多都蔵



この度、4月5日の定期理事会において会長に選任され

ました、日本舞踊花房流家元・花房多都蔵でございます。会員の皆様には文芸協の事業並びに運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、各団体の指導の先生方におかれましては、文化芸術の発展と継承にお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。

とする。」という文芸協規約第三条(目的)のもと、文化芸術の向上と健康長寿都市須坂の一翼を担えるよう、会員一同精進していきたいと思います。

さて、海外ではイスラム国によるテロや難民問題・北朝鮮情勢、また、日本においては子供たちのいたましい事件や事故、東日本大震災や熊本地震による避難者や仮設住宅に住んでいる人が、まだ数万人もいるということですが、私たちは今こういうニュースを聞くたびに、平和の尊さや大切さを強く感じます。文化活動による人々の交流や心のふれあいは、生きる喜びと張り合いを持たせ、それが活力となつて地域の活性化や文化の発展、更には平和にも繋がっていくものと思っております。

なお、11月5日に堀直虎公没後150年祭記念式典がメセナホールにて開催される予定ですが、文芸協としても参加・協力して参りたいと思います。

今後とも新役員並びに会員の皆様には、文芸協発展のためご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年交流会 オープニングセレモニー 「鶴 亀」 柏 謳 会



平成29・30年度 須坂市文化芸術協会役員

会 長 花房多都蔵

花房多都蔵社中(芸能)

副会長 兼 謡曲部長

藤田 健一

須坂宝生会(謡曲)

副会長 兼 音楽部長

中島 雅景

正派雅尚会(音楽)

副会長 兼 芸能部長

市村 文男

無想伝心碧洲流(芸能)

副会長 兼 展示部長

宮崎さと子

小原流(展示)

副会長 兼 茶席部長

北原 勲

石州流(茶席)

会 計

高坂恵美子

朋友バレー(芸能)

事務局長

村石 武志

柏謳会(謡曲)

幹 事

永田 郁子

照岳流吟剣詩舞道会(芸能)

幹 事

駒津 信

須高歌人クラブ(展示)

監 査 員

戸井田静男

柏謳会(謡曲)

監 査 員

北島 汎詠

尺八汎山会(音楽)

文化芸術による人づくり。 まちづくりへの貢献に感謝

須坂市長 三木正夫



須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、各分野それぞれ独自の文化芸術活動に日夜御精進され、当市の文化芸術振興にも御尽力いただいておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。

当市では、「第五次須坂市総合計画」の後期5カ年の基本計画を策定し、「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち須坂」を目指しております。また、健康づくりを基軸に自然・

伝統文化・農業・商業・工業・観光などを組み合わせ、須坂の魅力を市民の皆さんと磨きあげ、健康長寿への取組みを進めていく健康長寿発信都市『須坂JAPAN』の実現に向けて、人づくり・まちづくりを進めております。

さて、南澤汎山前会長様におかれましては、4期8年という長きにわたり、市の文化芸術振興のために多大なご尽

力をされ、公民館、地域また学校において市民が芸術活動に触れる機会の提供による普及活動や、伝統ある須坂市民文化祭において市体育協会団体とコラボレーションをし、スポーツと芸術との共創を取り入れるなど、先進的な取り組みをされてきました。これは、市の後期基本計画基本目標の一つである「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」の実践に他なりません。その多年にわたる功績に心から感謝申し上げる次第であります。

花房多都蔵新会長様におかれましては、貴協会会員の皆様方とともに、様々な活動の実践により、他分野との連携をさらに進めながら、共創・協働の精神により「須坂文化の振興」、「人づくり」、「まちづくり」といった推進施策を、今後も共に進めていただきますよう、願っております。最後に、花房会長様をはじめ、貴協会会員の皆様方の、今後益々の御発展と御健勝を御祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成28年度 第54回 市民文化祭 から



朋友バレエ



江戸千家



須坂宝生会



正派雅尚会



体験教室



尚道流吟道会

第7回 こどもわくわくフェスティバル

2016.12.11



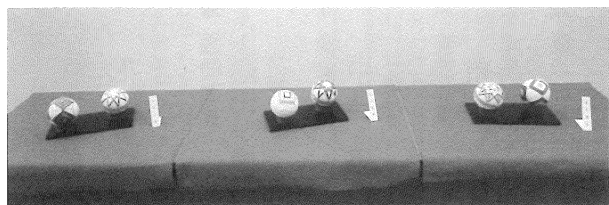
藤洋会



花房多都蔵社中



尺八汎山会



展示風景



白鳥バレエ

平成29年度 第55回 須坂市民文化祭

10月15日(日)

謡曲会 茶席

中央公民館

10月9日(祝)

音楽祭

メセナホール(小)

10月28日(土)

29日(日)

展示会

メセナホール(小)

10月29日(日)

芸能祭

メセナホール(大)

平成28年度 文化芸術講座



いけばな講座



さわやか謡曲講座(観世流)



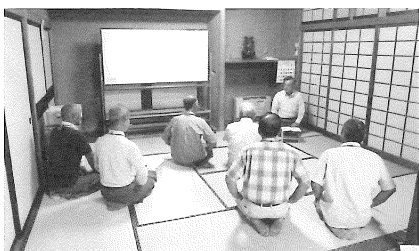
楽しいハーモニカ講座



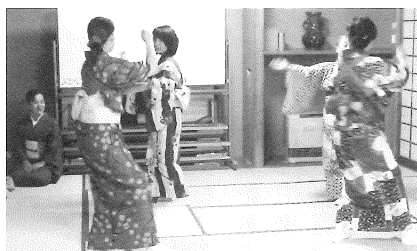
消防木遣講座



初心者箏講座



仲間づくり謡曲塾(宝生流)



気軽に楽しめる日本舞踊講座



初心者向け短歌教室

文化芸術の振興を

須坂市中央公民館長 田中 賢一



須坂市文化芸術協会会員の皆様におかれましては、日夜、公民館活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

文化芸術活動は、人間が充実した素晴らしい人生を送るために、必要欠くべからざるものであり、大変身近なものであるとあります。

「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が文化芸術活動に参加できる機会提供の場として、貴協会と中央公民館が連携して開催している文化芸術講座も、今年で9年目を迎えます。貴協会会員の皆様に講師をお願いし、懇切丁寧な御指導により、講座修了後も公民館等でサークルを創るなど、文化芸術活動を継続される参加者がありますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

市民の皆さんが、歴史ある素晴らしい文化や芸術に触れ、

学び、親しみ、さらに交流すること、文化芸術に対する意識が高まり、その地域の力が蓄えられ、地域が活性化すると考えます。

今後も、文化芸術分野のみにとどまらず、スポーツなど他分野の団体とも交流、連携などを通して、皆様の活動や運営に反映されることが、公民館など社会教育・生涯学習施設との連携をさらに強めて、文化芸術の振興を進めていただければと思います。

結びに、花房多都蔵会長様をはじめ、須坂市文化芸術協会会員の皆様方の、今後益々の御発展と御健勝を御祈念申し上げます。

文芸協と私
①

詩吟の継承

成山吟道会 三井 奈都代

詩吟の世界は奥深いもので趣味としては実に面白いものであります。詩より歴史を学び、友と交流し、また鍛錬すること「詩吟」の世界を色々な角度から見ることが出来ます。現在私はこの「詩吟」の文化を次世代へと繋ぐ活動をさせて頂いております。ひとりでも多くの子供たちが詩吟を学び、更には子の次の世代へと伝えていくことが衰退していく伝統芸能の一番の課題ではないでしょうか。いろいろな「側面」から詩吟を学ぶ事はとても重要で、現代の子供たちに教えるにあたって気をつけることであります。原点は詩吟にあります。ですが、そこから書を楽しみ、剣舞で表現し、時には詩を創作し、それを吟じて触れていく面を増やすことで一筋

の詩吟の世界観の幅を広げていく事ができると思っております。そして彼らにとって発表の場があることはモチベーションを上げる事でもあります。そんな場がここ須坂にもっと増える事で、伝統文化の盛んな町として、そして伝統芸能を支え伝えていく須坂として発展していってほしいと願います。

文芸協と私
②

本番が教えてくれる事

藤勢津会
(藤間千勢津社中) 今溝 睦子

私たち門下生一同は、普段はいくつかの稽古場に別れて日本舞踊の指導を受けております。そして市民文化祭のような発表の機会を頂くと本番に向け、時には一人で、時には数人で演目を完成させるための稽古に励むこととなります。

本番当日は舞台用の化粧をし、衣裳

を身にまとい、わくわくしながら踊らせて頂きます。踊り終えた時の達成感は大きく、仲間との絆も深まります。

しかし……本番は思ったように踊ることができない現実を知り、落ち込んでしまいます。落ち込むたびに師匠から「思うよ



うに踊れないから次に向かいまた頑張ることが出来るのですよ」と励ましを受け、気持ちを新たに頑張れます。一回の本番は、仲間との絆や努力の大切さなど、沢山の事を教えてくれます。これからも師匠のもと、仲間と共に精進してゆきたいと思っております。

文芸協と私
③

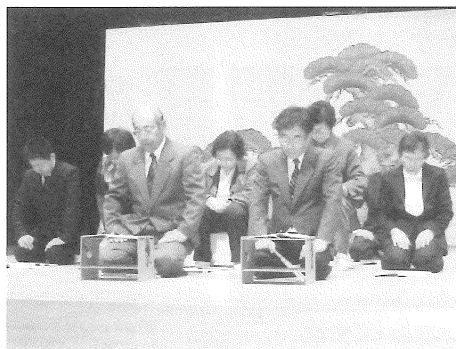
謡曲と私

青謡会 稲田 義則

私の所属する青謡会は、観世流名誉師範石田喜正先生を会長とし活動しています。稽古は、月3回で個人稽古で自分のレベルに合わせてくれるので、わかりやすく大変ありがたいです。謡曲会は、新年会を兼ねた青謡会新年素謡会を温泉一泊で会の親睦を深めています。3月は、70回をかさねる須坂観世流謡曲連合会素謡会、若穂愛謡会素謡会、秋には須坂市民文化祭謡曲会などです。謡曲会の懇親会でお盆のお肴は、全員で謡う為ガラス窓がビリビリ震えガラスが割れるかと思ったことがあります。

謡曲会も高齢化が進み会の数も減り、一日あった謡曲会も半日になるなど深刻な問題を抱えています。最近宴席でも北信流をあまりやらなくなってきたり、締めとしては非常にいいと思います。伝統の灯を消さないでほしいものです。

謡曲は、腹から声を出すので健康によし、物語を想像するのでボケ防止にもなり、また物語の舞台となる名所を訪ねてみるなど、年をとっても出来る大変いい趣味だと思います。是非皆さんも謡曲を始めてはいかがですか。



文芸協と私

④

文芸協と私

小野寺社中民謡会
須坂支部

山口喜悦

私が小野寺社中民謡会須坂支部に加入させて頂いたのが三年前、そのレベルの高さに大変驚かされました。

しかし、年に一度、五月第三日曜日に湯つ蔵んどで、おさらい会を開催するのみで、須坂市民の方々に聞いて頂く機会が少なく、もう少し市民の皆さんの目に触れる活動ができないものかと思い、須坂中央公民館にメールにて相談を致しました。後日、公民館に出向き、たまたま南澤前会長にお会いすることが出来、こちらの趣旨をお話すると、快く協会への入会を引き受けて下さり、一年が経過致しました。その間、文化芸術協会の発表会にも出演させて頂いたり、須坂を再認識する数々のイベントにも参加させて頂いたできました。また都度、協会員の方々と触れ合いが嬉しく

楽しい日々を過ごしております。これから須坂市民の方々に少しでも故郷の香りがする民謡、心に沁みる三味線の音色を聴いていただけるよう会員一同、練習に精進を致しますので発表会その他に足を運んで頂ければ嬉しいです。

民謡、三味線をやってみたい方を募集中です。ぜひ声をかけて下さい。

第54回 市民文化祭 音楽祭



文芸協と私

⑤

文化祭に寄せて

宏道流(望月) 高橋 美恵子

今振り返るに、いけ花を始めて五十二年になります。数字にすると長く感じますが、過ぎて見ると短く感じられます。私がいけ花を始めて最初に発表し展示しましたのは、市の文化祭でした。それから毎年参加させていただいております。最初は先輩先生の設定していただいた会場に展示し、先生より指導をいただいて参りました。今は会場を作り、生徒さんの指導をする立場になっており時間の流れを実感しております。

会場も公民館からメセナホールへと変わりましたが、私の中で経験させて頂き、発表の場を須坂から北信地域・県・全国へと進めていただいた原点であります。多くの皆様に接して学



ぶと共に成長させていただきました。市の文化祭が、最初に学ぶ人達の発表と経験を重ね、次へのステップの場所としてこれから長く続いてほしいと思います。

日本の伝統文化を学ぶ方が少なくなっておりますが、少しでも良さが解っていたたくよう努力して参りたいと思います。

文芸協と私

⑥

お茶を楽しむ

石州流 北原 勲 翠

縁あってこの門に入り二十数年、未だ修業の身で中々楽しめませんが、常にそうありたいと思っております。茶道はどの流派も千利休に発し、わび茶を理想としております。私共の石州流は片桐石州公が將軍家に教えたことから全国の武家に広まり、茶の心得があることは武家や上流の人々にとっては必須の事だったようです。茶

の湯は本来そこに集う人々の「二期一会」を大切にすることで、千六百年代も後半になると、道具に全てをかけたりにして、それを戒める古文書も出てきます。

今のお茶会は大寄せがほとんどです。利休の理想とする四畳半の茶室でのおもてなしは中々できません。また最近私

共年寄り膝が痛く、若い人はすぐしびれて正座ができません。写真は昨年の市民茶会の風景ですが、このように最近では会場の都合ばかりでなく、立札席が多くなりました。江戸時代ではないので今は状況に合わせていろいろなスタイルで、しかし伝統も大切にしながらお茶を楽しんでいきたいと思っています。



平成28年度須坂市文化芸術協会決算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入金額 1,308,701円
支出金額 1,250,318円
差引残高 58,383円(次年度繰越金)

収入の部

単位・円

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
前年度繰越金	28,000	28,000		前年度から
会 費	454,500	824,700	370,200	43団体×3,000 690人×500 子どもわくわくフェスティバル その他
補 助 金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑 収 入	27,500	6,001	△ 21,499	利息1 ご祝儀6,000
合 計	960,000	1,308,701	348,701	・

支出の部

単位・円

項 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
会 議 費	20,000	19,800	200	監査(27、28年度)、役員会
渉 外 費	15,000	11,500	3,500	
普及活動費	45,000	48,521	△ 3,521	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	35,000	41,526	△ 6,526	コピー、用紙、はがき等
負 担 金	56,000	49,500	6,500	須高文化交流会
事 業 費	789,000	1,079,471	△ 290,471	文化祭、その他
内 名簿・会報	74,000	73,980	20	
内 広告	87,500	95,000	△ 7,500	
内 フラガム・ポスター	185,000	187,701	△ 2,701	
内 謡曲部	34,500	34,500	0	
内 音楽部	72,000	72,000	0	
内 芸能部	247,500	247,500	0	
内 展示部	66,500	66,500	0	個人会費9,000円含む
内 茶席部	22,000	22,000	0	
内 その他事業	0	280,290	△ 280,290	新年交流会等
予 備 費	0	0	0	
合 計	960,000	1,250,318	△ 290,318	

基金(別途積立金) 20,000円

平成29年度須坂市文化芸術協会予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成29年4月5日承認

収入金額 1,250,000円
支出金額 1,250,000円
差引残高 0円

収入の部

単位・円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	58,383	28,000	30,383	前年度より繰越
会 費	740,000	454,500	285,500	43団体650人分、新年交流会等
補 助 金	450,000	450,000	0	須坂市より
雑 収 入	1,617	27,500	△ 25,883	利息・祝儀等
合 計	1,250,000	960,000	290,000	

支出の部

単位・円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	20,000	20,000	0	監査、役員会
渉 外 費	10,000	15,000	△ 5,000	
普及活動費	45,000	45,000	0	子どもわくわくフェ スティバル、連携講座
負 担 金	50,000	56,000	△ 6,000	須高文化交流会
通信・事務費	40,000	35,000	5,000	コピー、用紙、はがき等
事 業 費	1,050,000	789,000	261,000	文化祭、その他
内 名簿・会報	74,000	74,000	0	
内 広 告	90,000	87,500	2,500	
内 フラガム・ポスター	185,000	185,000	0	
内 謡曲部	38,000	34,500	3,500	
内 音楽部	68,000	72,000	△ 4,000	
内 芸能部	240,000	247,500	△ 7,500	
内 展 示 部	54,000	66,500	△ 12,500	
内 茶 席 部	21,000	22,000	△ 1,000	
内 その他事業	280,000	0	280,000	新年交流会等
予 備 費	35,000	0	35,000	
合 計	1,250,000	960,000	290,000	

平成29年度須坂市文化芸術協会事業計画

期 日	事 業	内 容	場 所
4月5日(水)	定期理事会	事業及び決算報告・事業計画等審議	中央公民館
4月5日(水)	第1回会報編集委員会	発行までのスケジュール確認	中央公民館
4月25日(火)	第2回会報編集委員会	割り付け会議	中央公民館
5月21日(日)	第3回会報編集委員会	校正	中央公民館
5月10日(水)	連携講座の開始	ハーモニカ教室ほか7講座	中央公民館
5月29日(月)	第1回常任理事会	第1回理事会付託議案審議	中央公民館
6月15日(木)	第1回理事会	議員懇談会・予算ほか	中央公民館
7月22日(土)	須坂カッタカタまつり	芸能部参加	駅前通りほか
7月	議員懇談会	正副議長及び関係議員との意見交換	中央公民館
9月	第2回常任理事会	第2回理事会付託議案審議	中央公民館
9月	第2回理事会	市民文化祭・子どもわくわくフェスティバルほか	中央公民館
10月9日(祝)	第55回 市民文化祭	音楽祭	メセナホール(小)
10月15日(日)		謡曲会	中央公民館
10月15日(日)		茶席	中央公民館
10月28日(土)		展示会	メセナホール(小)
10月29日(日)		芸能祭	メセナホール(大)
10月29日(日)			
12月10日(日)	子どもわくわくフェスティバル	子ども達の舞台発表と展示	メセナホール(小)
12月	第3回常任理事会	文芸協新年交流会実施案審議	中央公民館
平成30年			
1月	第4回常任理事会	文芸協新年交流会最終確認	中央公民館
2月	文芸協新年交流会		中央公民館
2月	須高文化交流会	須坂・小布施・高山文化交流(当協会が当番)	未定
3月	第5回常任理事会	当年度事業及び決算報告・次年度事業計画ほか	中央公民館

編集後記

本年度は、役員体勢も一新し、花房新会長の元、須坂文芸協のさらなる発展を目指して初の仕事として「文芸協だより」発行に編集委員一同力を合わせて、皆様に喜んで頂けるような

紙面作りに勤めてまいりたいと思います。(市村)

市村 文男・藤田 健一
高坂 恵美子・上野 順平
中島 雅景・中島 千賀子
宮崎 さと子・和久井 美智子
北原 勲